

細則様式第 4 号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏 名	藤原 健一		
入学年度	平成 23 年度	学籍番号	11GG605
領 域	健康支援科学	分 野	老年保健学
審査委員	主 査	若山 佐一	
	副 査	伊藤 巧一	
	副 査	木田 和幸	
	副 査	對馬 均	

論文題目：

高齢者の介護予防としての口腔機能向上事業における姿勢・頸部機能への介入効果

審査結果要旨：

本研究は、高齢者の誤嚥性肺炎につながる口腔機能低下の予防を目的として全国的に展開されている、介護予防事業「口腔機能向上プログラム」の改善に取り組み、従来のメニューに姿勢・バランス改善を加えることの効果について検討したものである。

研究は大きく 3 つの段階を経て実施されており、まず健常成人の姿勢と呼吸機能および口腔機能の実態の把握、つぎに健常高齢者と虚弱高齢者の姿勢と呼吸機能および口腔機能の検討、そして最後に、地域在住高齢者に対して口腔機能向上を目的とした姿勢・バランス機能改善プログラムによる介入が実施され、その効果について姿勢、呼吸機能、口腔機能、QOL の面から検討が行なわれた。審査論文では、これらについて系統的かつ過不足なく論述されていた。

既存の口腔機能向上プログラムに加えて、姿勢バランスの改善を重視したプログラムの併用が高齢者の円背傾向を改善し、円滑な嚥下運動をもたらすことが明らかとなった成果は、きわめて新規性に富むものである。

審査会では高齢者の誤嚥性肺炎の原因を含めた研究の背景や先行研究の状況、クロスオーバーデザインによるコホート研究の手続きなどについて、分かりやすく説明されており、研究内容、審査論文を十分理解していることが的確に示された。以上より、本論文は博士の学位に値するものと考える。

最終試験 平成 27 年 1 月 31 日

試験の結果は 合格 と判定する。